

令和5年3月13日よりマスクの着用は「個人の判断に委ねる」こととなります

1. 「個人の判断」ということは、お店として「着用のお願ひ」はしなくて良いの？

これまで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、政府の要請や業種別ガイドラインとして「正しいマスクの着用」を従業員・利用者に求めてきましたが、今般「行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、マスク着用は個人の判断に委ねることを基本とする」との方針が決定されました。

従って、事業者の判断により、今後は利用者にマスクの着用を求める掲示等がなくても構いません。

しかし、一方で高齢者や持病をお持ちの方など、感染リスクの高い方々への配慮も必要であることは忘れないようにしましょう。

2. 「マスクの着用」をお店としてお願いしてはいけないの？

今般の見直しでは、事業者の対応について「事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容される」としています。

従って、これまで通り利用者にマスクの着用を求めることは認められますが、「個人の判断に委ねる」ことが基本とされているため、強制・強要することはできません。

※ 強制・強要とは、無理にマスクを着用させることであって、事業者の判断により（例えば、感染防止のため）マスクの着用をお願いすることは、強制や強要とはなりません。

3. マスク着用をお願いし、マスクをしないことを理由に入店を断った場合、「個人の判断だ」と苦情を言われた場合、どのように対応すればいいの？

お店としての利用の条件（現金決済のみ、キャッシュレス決済のみ、ドレスコード等の条件と同じようにマスク着用を求める）を設けることは可能です。その上で、以下のような理由でマスクの着用について強制するのではなく、感染防止対策としてお店の利用条件とさせていただいていることを丁寧にお知らせしましょう。

- 1 事業所の判断により、利用者に「マスクの着用を求めること」は認められていること。
- 2 当店は、従業員、高齢者や持病をお持ちの方など感染リスクの高いお客さまなどにも安心してご利用いただくため、「マスク着用」をお願いしていること。

令和5年2月10日付 新型コロナウイルス感染症対策本部決定
「マスク着用の考え方の見直し等について」(7) 留意事項

マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう周知していく。

⇒ 大切なことは、マスク着用を「お願いする」・「お願いしない」ではなく、利用者・従業員など一人一人が主体的に判断していただくことを尊重することです。